



日本三大練供養の一つ。阿弥陀如来立像に信者が入る練供養
弘法寺練供養



指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	こうぼうじねりくよう
所在地	瀬戸内市牛窓町千手
指定年月日	昭和32年5月13日
解説	毎年5月5日、六菩薩がささげ持つ中将姫を極楽浄土へ導く様子を再現する練供養行事である。弘法寺遍明院・東寿院本堂で、「迎え仏」と称する中が空洞となっている阿弥陀如来像の中に信者が入り中将姫の行列を迎える。仏像自体を持ち出す練供養は珍しく、美作誕生寺の練供養、大和当麻寺の練供養と合わせて、日本三大練供養の一つといわれている。
アクセス方法	ブルーライン 邑久ICから車で約15分
公開状況	開催日：5月5日
設備	ふもとにある遍明院楠広場 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 駐車場  トイレ  </div>
備考	